

南西諸島の特産工芸品開発支援システムの構築

デザイン・工芸部

1 はじめに

本県は本土最南端に位置し、海洋に点在する島々を含む南北600kmの空間の広がりを持つことから多様な自然と文化に恵まれています。中でも、奄美を中心とする南西諸島は、地域性豊かな動植物や言語、習俗などの文化、風土など優れた資源・素材に恵まれています。

しかし、現地における特産工芸品や土産品については、地域独自の物が少なく、多くは県外産に占められ、恵まれた資源・素材が十分活かされていないのが現状です。

そこで、特産工芸品や観光土産品の関連企業、団体を支援する目的で、奄美地域をモデルに地域の特徴ある製品開発に有効な手引書の作成と、製品開発を試みました。

2 手引書の作成と製品開発

地域性を表現するために、「奄美らしさ」をイメージさせる要素の抽出を行いました。

- ・奄美のモチーフ：自然、動植物、道具や習俗などの中から約200点を抽出しました。
- ・奄美の材料：奄美でこれまで使われてきた有用樹木とその利用法について文献等から約100点を抽出しました。
- ・奄美の色：奄美のモチーフの中から、色相環上に基本色10色と周辺色を、また、亜熱帯の動植物から奄美らしい配色の抽出を行いました。
- ・奄美の形：奄美のモチーフの中からシルエット化や単純化、パターン化することで図柄や文様になりうる物を抽出しました。
- ・奄美の言語イメージ：イメージ・スケール手法を用いて言語（形容詞）の選定を行いました。
- ・奄美の特産工芸品：アイテムを検討しました。これらの中から幾つかを図1に示します。

3 製品開発

商品化を前提に、群島内企業や関連団体との連携を図りながら特産工芸品としての製品開発を進めました。対象業種は、主に木工芸関連品とし、奄美群島を意識させるとともに知的好奇心や学習効果を高める製品としての提案を行いました。

沖縄、奄美に伝わるサバニ型の手漕ぎ漁船ミニチュアキットと奄美群島の動物パズルシリーズを図2に、レーザー加工による奄美群島地図パズルを図3に示します。

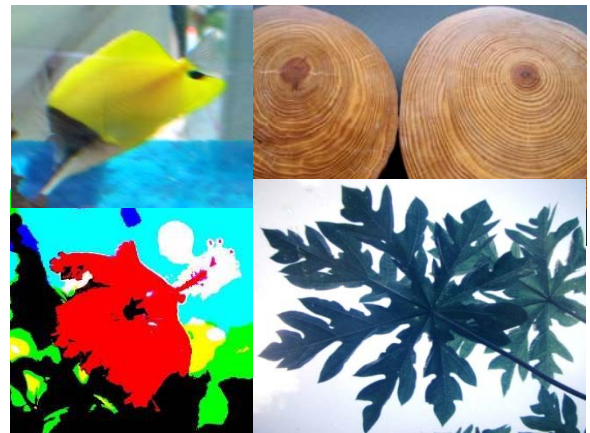


図1 奄美らしさの抽出例（モチーフ、材料、色、形）



図2 手漕ぎ漁船キットと動物パズルシリーズ



図3 奄美群島地図パズル

4 おわりに

奄美のような特徴ある自然や文化を有する地域においては、製品やパッケージにその地域性を表現することが、特徴ある製品開発に有効です。